

## シーズン中のマテリアルについて（2013～2014）

	種目	男女	国内 COC・ FIS	SAJ A・B級	B級大会参加 のチルドレン 選手	インターハイ 出場の早生 まれの選手	国体 成年選手	国体少年の 早生まれの 選手	K1(U14) 選手	K2(U16) 選手					
スキー長 (最短長) スキー長 許容差±1	DH	女子	210	210											
		男子	218	218											
	SG	女子	205	205	年齢カテ ゴリーの 用具で可	年齢カテ ゴリーの 用具で可	X	年齢カテ ゴリーの 用具で可	体格、体力、 技能に適応し た スキー	175					
		男子	210	210											
	GS	女子	188	188			188				130	130			
		男子	195	195			195								
	SL	女子	155	155			X				130	130			
		男子	165	165											
※DH,SG,GSは、許容差－5cm摘要値(COCは除く)															
ラディウス (最小値)	SG	女子	40	40			年齢カテ ゴリーの 用具で可				年齢カテ ゴリーの 用具で可	X	年齢カテ ゴリーの 用具で可	体格、体力、 技能に適応し た スキー	27
		男子	45	45											
	GS	女子	30	30	30	14		17							
		男子	35	35	35										
スキー高		男女 共通	50	50	50	50	50	50	50	50					
ブーツ高		男女 共通	43	43	43	43	43	43	43	43					

※スキー高は、スキー＋プレート＋ビンディングの合計値

※年齢カテゴリーの用具で可は、最小値の意味

※全てのハード及びソフトパーツを含むヒールの底部からスキーブーツソールまでの間隔